

平成28年度 学校評価アンケート結果(前期)について

1 “保育”について

- 項目1「自分から遊びを見つけて遊んでいる」では、4歳児よりも5歳児保護者の方がA評価が高い評価結果が見られました。4歳児は、4月に入園して新しい生活や環境に慣れ、幼稚園が安心・安定できる場になるように保育に取り組んできました。この項目は、後期との変化を見ていきたいと思います。

項目2「幼稚園で様々な体験をし、心を動かして遊んでいる」では、教職員と保護者との結果に違いが見られ、保護者より教職員の方が評価が高い結果が見られました。教職員は、子どもの日々の生活や遊びの姿を共に生活するなかで目の前で子どもの姿を見て感じています。その姿が保護者にも伝わるよう更なる発信の工夫が必要であるとわかりました。

項目3「さまざまな遊びの環境が整えられている」項目7「園生活を通して、基本的な生活習慣が以前よりも身につけてきている」では、保護者も教職員もB評価が多い結果が見られました。項目3は、教師は課題をもちさらに工夫が必要と感じています。また同時に、日々の教師の環境へ込めている願いや思いも丁寧に保護者へ伝達していきたいと思います。項目7に対しては、今後も家庭とともに協力して進めていきたいと思います。

“保育”の項目で評価が高かったのが、項目5「幼稚園は、異年齢交流やかかわりを大事にしている」でした。園内では、4歳児・5歳児のペアでの活動を意図的に取り入れていることなど幼稚園の日々の生活や取組の中から保護者も感じてくださっていることがわかりました。引き続き取り組んでいきたいと思います。

2 “連携”について

連携面では、項目8「教職員は、話しかけやすい雰囲気があり、相談しやすい」のA評価が高い結果が見られました。保護者と幼稚園との信頼関係が築かれつつあることが見えてきます。

項目10「小学生に親しみを感じている」では、評価結果が低く、C評価も20パーセント弱見られました。教職員の結果からも連携面の項目の中では、一番低い結果が見られました。また、4歳児よりも5歳児の方がA評価が高い結果が見られていました。4歳児は、小学生との交流が1学期はあまりなかったのも要因の一つかもしれません。小学生の姿は、毎日目にしたり行事に参加したりもしていますが、子どもは、直接的なかかわりがないので親しみにつながりにくかったのかもしれません。また、開智幼稚園との連携や小学生との幼小連携面については、1学期なので、これからだと思うという意見も見られ、後期との比較につながっていくと思われます。

3 “家庭”について

家庭面では、項目12「生活リズムを整え生活している」では、他の項目より評価が低く課題を感じます。保護者の中には、D評価をつけておられる方もおられます。生活リズムを整えることは大事なことということは、保護者の皆さんも思われていますが、実行することの難しさを感じます。幼稚園からも、生活リズムを整えるための工夫や保護者啓発にも取り組んでいきたいです。

項目14「会話を楽しんだり、一緒に遊んだり、親子のかかわりを大切にするなかで子どもの成長を感じている」では、4歳児よりも5歳児の保護者の方がA評価が高い結果が見られました。4月に4歳児の入園児を迎え、年長児になったという喜びや自覚から張り切って生活していた5歳児でした。その子どもたちの姿から成長を感じておられることも要因の一つかもしれません。

4 “情報発信”について

教職員の方が評価が高い結果が見られました。担任は降園前の保護者への伝達で、一日の子ど

もの様子だけではなく教師の願いや子どもの成長などもできるだけ短い時間でお伝えしたいと努力しています。自分の子どもの姿を知りたいという保護者の願いをしっかり受け止め、園側の発信だけでなく、保護者からも日頃感じていることを話してもらったり、保護者の思いをキャッチできるように心掛けて行きたいと思います。

<自由記述より意見抜粋>

- 教職員の皆さんも保護者の方もいつも気さくに声をかけて下さり、とてもいい環境においでいただいていると思います。
- 毎日楽しみに幼稚園に通わせて頂きありがとうございます。
- いつも大変お世話になっております。いつもあたたかく見守って下さり、子どもと心からの交流に取り組んで下さっている様子が伝わってきます。幼稚園の友達と先生が大好きで楽しんで通わせてもらっています。ありがとうございます。
- いつも子どもの気持ちに寄り添った教育、ありがとうございます。
- いつもありがとうございます。本人は、とても楽しく幼稚園生活を送っています。

課題

- 提出物などの提出期限をもう少し長くして頂きたいです。ひとつひとつの行事がわからないことが多いです。出来れば前日ではなく事前にもう少し詳しい説明があればありがたいです。

<学校運営協議会より>

- 情報発信の1つに、園はホームページを掲載している。ホームページの写真や内容などから子どもの様子がより伝わるのではないか。どのくらいの閲覧数があるのかをしっかりと把握し、見てもらえるように発信していくことも必要であろう。
- 園で取り組んでいる教育を保護者にも伝達や周知ができるように工夫して取り組んでほしい。
- 幼小連携の取組は、自園の特色である。今後も継続して取り組んでほしい。